



近畿自然歩道 31 小雲取越えのみち



まつぼたぢゃやあと松畑茶屋跡

かつて、熊野古道やその周辺には茶屋が数多く置かれ、道行く人々の疲れを癒した。こどもその1つであり、高い石段を横んだ茶屋屋敷の跡が残されている。



ひまわり 百間ぐら

小雲取越の絶景ポイント。「ぐら」とは高い崖のことをいう。「熊野三千六百峰」ともいわれた幾重にも重なる山並みを一望できる。



和歌山県朝日夕陽百選

小雲取越の百間ぐらから望む夕陽は、大パノラマとなる広がる熊野の山々を紅色に包みこむ。

交通情報

- ▼起点：下地橋バス停 (田辺市本宮町請川)
 - ・運行頻度：1日10～20本
 - ・熊野交通線 TEL：0735-22-5101
 - ・奈良交通線 TEL：0742-20-3100
- ▼終点：小和瀬バス停 (新宮市熊野川町上長井)
 - ・運行頻度：1日10本以下
 - ・熊野交通線 TEL：0735-22-5101



注意事項

- ▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
- ▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
- ▼ゴミ・空き缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。
- ▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。
- ▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
- ▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
- ▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

行程図



下地橋バス停



仏舎利宝珠尊

子安地蔵

1 松畑茶屋跡

2 百間ぐら

3 和歌山県朝日夕陽百選

4 寶の河原地蔵

5 石堂茶屋跡

6 桜茶屋跡

7 尾切地蔵

8 小和瀬の渡し場跡

9 小和瀬バス停 / 和歌山県朝日夕陽百選



宝の河原地蔵

「寶の河原」は三途の河を意味する。三途の河で親の供養のために石を積むという説話から、積み上げられた石になぞらえてこの名が付いたといわれる。



いしどうぢゃやあと石堂茶屋跡

山中から砥石がとれたため石砥茶屋とも呼ばれた。叡地の北側には水堀、西方には墓石もあり、往時の生活を偲ぶことができる。



さくぢぢゃやあと桜茶屋跡

庭先にヤマザクラの木が自生してあったことからこの名で呼ばれた。ここからは眺めは素晴らしく、越前峠、大雲取山が一望できる。



おきりじまの尾切地蔵

半島状にある集落は栄えないという言い伝えがあり、半島状の付け根にあたる場所に、その尾を絶つという意味で地蔵を祀って村の繁栄を願ったとされる。



こわせ小和瀬の渡し場跡

赤木川にはかつて渡し舟があった。人だけでなく、牛馬や籠籠についても渡し賃が定められており、さらに川の水量により渡し賃が増減したという。



和歌山県朝日夕陽百選

桜茶屋跡から向かいの山の上に昇る朝日は、朝霧に煙る眼下の川や田を輝かせ、色鮮やかに周りの木々を照らし出す。



凡例

- トイレ
- 水場
- 休憩所
- 売店
- 公衆電話
- 駐車場
- バス停
- 駅



和歌山県 Wakayama Prefecture
 環境生活総務課 自然環境室
 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
 TEL：073-441-2779
 FAX：073-433-3590
 メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp